

環境報告書

2011

概要版



未来の笑顔のために、

”いま”私たちができること



環境報告書は、三重県庁が環境負荷の低減・環境創造の推進に取り組んでいる状況について、県民や事業者の皆様にお知らせすることを目的として作成しています。

かけがえのない三重の豊かな環境を守り、育て、次世代に継承していきます

三重県庁の節電の取り組み

三重県庁では、東日本大震災に端を発した電力需給の逼迫(ひっばく)を踏まえ、重点的に節電対策に取り組んでいます。次のような節電アクションにより、この夏(6~8月)、総合庁舎では前年度同時期と比較して約13%の消費電力削減に成功しました。

節電アクション 照明

- 1 昼休みの室内灯、個人用照明器具の消灯を徹底しています。
- 2 自然光を有効活用し、窓際の照明消灯を実施しています。
- 3 勤務時間終了時に、可能な限り職場内の一斉消灯に取り組んでいます。
- 4 トイレ、階段、廊下などの間引消灯を実施しています。
- 5 構内水銀灯を消灯し、職員駐車場の水銀灯においても深夜は消灯しています。(防犯灯を除く)



業務に支障が無い範囲で、窓際の照明消灯を実施しています
勤務時間終了時に一斉消灯し、残業する職員は照明を点灯します

勤務時間終了時に照明消灯を実施することにより、節電意識や業務効率をさらに高める意識が向上しました。



農水商工部
農水商工総務室
加藤 恵一

節電アクション パソコン、プリンター、コピー機

- 1 パソコンの省エネ設定を徹底しています。
- 2 40分以上席を外す際は、パソコンの電源をオフにしています。
- 3 昼休憩時のOA機器の電源オフを徹底しています。
- 4 退庁時の待機電力の削減(コンセントから抜く)を実施しています。
- 5 コピー機、プリンターの効率的利用に努めています。



退庁時にはパソコンのACアダプターをコンセントから抜きます

離席時にパソコンのフタ閉じをすると省電力モードになる等の省エネ設定を全庁的に周知し、各職員が取り組んでいます。



総務部
人材政策室
田宮 加奈子

節電アクション 職場環境、働き方

- 1 空調の設定を冷房28℃、暖房19℃を目安に運転しています。
- 2 エレベーターの運転を一部制限しています。
- 3 エレベーターの利用を自粛し、階段の利用を促進しています。(上り2階差、下り3階差以内は原則、階段を利用)
- 4 夏のエコスタイル(クールビズ)を例年より前倒しで実施しました。(5月18日(例年6月1日)~9月30日)
- 5 ノー残業デー(全庁および部局別)を実施しています。
- 6 毎週水曜日の省エネ・デー(※)、夏の省エネ・ウィーク(8月22日~8月26日)を実施し、職員の節電意識の向上を図っています。
※職員各自が照明やパソコンなどの節電を徹底し、できる限り早期退庁に努める日

これまで、毎月第3水曜日を「省エネ・デー」としていましたが、一層の節電に取り組むため、5月25日から毎週水曜日を「省エネ・デー」としました。



7~9月は、4基あるエレベーターの運転を2基に制限しました



環境森林部
地球温暖化対策室
玉田 朋紀

Let's Try!! さあ、あなたもいっしょに地球にいいことしましょう!

家庭での節電対策チェックシート このチェックシートを有効活用し、家庭での効果的な節電対策を実践しましょう!!

- | | |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> エアコンの使用時間を1時間短縮する | <input type="checkbox"/> 炊飯ジャーの保温をやめる |
| <input type="checkbox"/> エアコンのフィルターを掃除する | <input type="checkbox"/> お風呂は温かいうちに続けて入る |
| <input type="checkbox"/> 洗濯はまとめて洗う(水の使用量も考慮) | <input type="checkbox"/> 家電製品を使わない時はコンセントからプラグを抜く |
| <input type="checkbox"/> 冷蔵庫内を整理し庫内温度を調整する | <input type="checkbox"/> 家電製品・自動車などの購入時には、省エネ型を選択する |

環境省、省エネルギーセンター等の資料より作成

重点目標と実績

重点目標として、庁内オフィスごみ排出量、コピー用紙使用量および温室効果ガス排出量(電気使用および公用車の燃料使用に伴うCO₂排出量)の削減に取り組んでいます。

平成22年度の実績では、庁内オフィスごみ排出量および温室効果ガス排出量(公用車の燃料使用に伴うCO₂排出量)の目標は達成しました。しかし、その一方でコピー用紙使用量および温室効果ガス排出量(電気使用に伴うCO₂排出量)は目標を達成できませんでした。

重点目標の達成状況

重点目標	基準値 (18・19年度実績平均)	22年度 目標	22年度 実績
①庁内オフィスごみ排出量(トン)	970.1	921.6	790.0
②コピー用紙使用量(トン)	694.5	659.8	663.5
③温室効果ガス排出量(トン-CO ₂)	-	-	-
・電気使用に伴うCO ₂ 排出量	7,625	6,623	7,172
・公用車の燃料使用に伴うCO ₂ 排出量	1,953	1,816	1,797

環境に有益な取り組み

「みえのうみ」環境保全活動促進事業



海辺での生物観察会

豊かな海の恵みをもたらす里海である伊勢湾を再生するため、県民が主体となった海の環境保全に向けた取り組みを促進しました。

環境に配慮した公共工事



オオサンショウウオ人工巣穴メンテナンス

伊賀市内の河川は、特別天然記念物オオサンショウウオが生息していることから、生息空間の確保に配慮した工事を進めています。

工事完成後は、事後調査を兼ねたメンテナンスとモニタリングを行っています。

県立学校での活動



松阪高等学校の図書館の取り組み

県立学校では、学校が主催する行事やイベント等における環境保全に関する発表や展示、地域の小学校、自治会と連携した地域美化活動などに取り組んでいます。

連携で進める「キッズISO14000プログラム」



協力企業による子どもたちへの説明

地域での環境教育を具体的に展開するため、小学校児童が家庭での省エネ活動やごみの削減に取り組むことで環境への意識を高める環境教育プログラム「キッズISO14000プログラム」を学校、企業、NPO、行政の連携により実施しています。

広報紙に環境関連のコーナーを連載

毎月発行している広報紙「県政だより みえ」では、平成22年6月号からの1年間、「みんなでエコライフ～みんなで取り組む地球温暖化防止～」の連載を行い、地球温暖化防止対策に関する活動や制度、施設などを紹介しました。



県政だより みえ
(平成22年12月号)

三重県の表彰制度(環境森林部 地球温暖化対策室)

みえ環境活動賞

三重県の環境をよくするためのさまざまな活動をたたえ、県民の皆さんに広く知ってもらおうとともに、活動がますます素晴らしいものになるように応援していくため、それらの活動に取り組む個人または団体を表彰する「みえ環境活動賞」を平成18年度から運営しています。平成22年度は、42件の応募があり、5団体が受賞しました。(受賞組織等は下記ホームページをご覧ください)

三重の環境と森林→みえ環境活動賞
<http://www.eco.pref.mie.lg.jp/earth/100100/katsudosho/>

日本環境経営大賞

「日本環境経営大賞」は、「環境経営の発展」と「環境文化の創造」を目的として、全国のあらゆる企業・団体などの環境経営取り組みの中から、さきがけとなるものや優れた成果を上げているものを表彰する制度です。

第9回となる平成22年度は、全国から67件の応募があり、特に優れた14の取り組みを表彰しました。

(受賞組織等は下記ホームページをご覧ください) 三重の環境と森林→日本環境経営大賞
<http://www.eco.pref.mie.lg.jp/taisho/>

受賞団体

- ・伊賀ふるさとギフトネットワーク(名張市)
- ・伊勢寺地域環境保全向上活動をする会(松阪市)
- ・シャープ株式会社三重工場(多気町)
- ・三重県立相可高等学校(多気町)
- ・三重県立桑名北高等学校(桑名市)

三重県庁の環境方針

基本理念

地球温暖化に伴う気候変動が深刻化しており、低炭素社会への取組など、持続可能な社会の実現に向けた議論や取組が活発に行われています。

そうした中で、2011年3月に発生した東日本大震災に端を発し、電力需給が逼迫する事態となり、便利な生活を追求し、必要以上にエネルギーを消費するこれまでのライフスタイルについて見直しを迫られています。

そこで、私たちは、幅広い視野や将来に配慮する感性・創造力を大事にし、職員一人ひとりが率先してこれまでの自分たちの仕事のスタイルを見直し、三重のかけがえのない豊かな環境を守り、育て、次世代に継承していきます。また、政策・事業の展開にあたっては、地域の社会的な絆やつながりを大切にしながら、経済的な尺度や物質的な豊かさだけでなく「新しい豊かさ」につながる環境取組を戦略的に進めていきます。

基本方針

私たちは、「環境マネジメントシステム」を県政のマネジメントのベースに位置づけ、職員一人ひとりの「環境マインド」を高めながら、あらゆる行政活動の遂行過程において、環境負荷の低減、環境創造の推進に率先して取り組みます。

- 1 すべての部局において、業務の独自性や地域性を考慮し、環境マインドの醸成や環境負荷の低減、新たな環境創造につながる「環境目的・目標」を定め、各所属が主体となった環境活動を積極的に進めていきます。
- 2 あらゆる行政活動において、「環境負荷の低減・新たな環境創造につなげるための仕事の進め方等の見直し」や「省エネルギー・省資源の推進」の観点から、不断の改善、改革に取り組みます。
 - ①職員一人ひとりが、業務の遂行過程を抜本的に見直すことにより、温室効果ガス排出量、コピー用紙使用量、ごみ排出量について削減を図ります。また、公共工事等の環境に大きな影響を与える事業については、計画段階から環境配慮を徹底します。
 - ②高効率機器や低公害車など環境負荷をかけない新技術の導入を積極的に推進していくことや、物品やサービスの購入の際には、その必要性を常に考慮し、「みえ・グリーン購入基本方針」を徹底することで省エネルギー・省資源を着実に実行していきます。
- 3 環境関連法規等を遵守するとともに、環境汚染の未然防止に努めます。
- 4 環境目的・目標の達成状況等を定期的に検証し、環境マネジメントシステムの継続的改善を図ります。
- 5 環境方針や環境目的・目標の達成状況等、環境マネジメントシステムに関する情報について、職員等に周知するとともに、一般に公開します。

2011年9月30日

三重県知事 鈴木 英敬



◀本冊、ホームページ、電子ブックでさらに詳しく

三重県では、引き続き環境活動に積極的に取り組みながら、県民の皆様と共に、自然と共生し、環境への負荷の少ない持続可能な社会の構築を進めていきたいと考えています。ぜひ、こうした活動に対する皆様のご意見をお聞かせください。なお、この概要版より詳しい内容を掲載した本冊を作成しております。また、より多くの県民の皆様にご覧いただけるよう、ホームページおよび電子ブックでも公開しております。詳しくは、下記までお問い合わせください。

※本冊、ホームページおよび電子ブックは平成23年12月からの発行、公開予定です。

■この報告書に関するお問い合わせ先

三重県総務部人材政策室

〒514-8570 三重県津市広明町13番地

TEL 059-224-2231 FAX 059-224-3170

【E-mail】 jinzai@pref.mie.jp

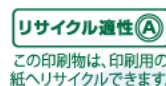
【三重県HP(三重県庁ISO14001について)】

<http://www.pref.mie.lg.jp/JINZAI/HP/iso14001/03torikumi.htm>

【発行】平成23年11月

この環境報告書は以下の仕様で制作しています。

- 印刷方法について



- 使用している文字について

この冊子は、誰もが読みやすい、ユニバーサルデザインフォントを使用しています。

